

優秀賞

たすけあい

真鶴町立まなづる小学校五年

菊原初華

私は、たすけあうというのは、やさしさやゆずりあい、そして、友情や声をかける勇気だと思います。

どうしてそう思ったかというと、やさしさや声をかける勇気がなければゆずったりすることができないし、友情がなければたすけることもできない。声をかけることができれば困っている人も困ったままだから、たすけあうのは、とても大切だと思いました。

私は、四年生の時に車いす体験とアイマスクをつけて足の不自由な人や目の見えない人は、いつもどのようなかくなのかを体験しました。

私は、実さいに体験をしました。車いすを一人で乗ってみて一番大変だったのは、段差です。いきおいをつけても、うまくのぼることができませんでした。次に友達ときょうりよくをして段差をのぼることができました。

次にアイマスクをして目の見えない人の体験をしました。一人でやってみて一番大変だったことは、自分が今、どこにいるのかまっすぐに進むことができているのかとても不安でした。けれど、次に

友達の声にあわせて歩いてみると、一人でやったときの不安がなくなりました。

私は、この体験を通して、たすけあうということは、困っている人の支えになるということを学び、だれかを支えるのは、とても大切だとおもいました。私もだれかを支えること、だれかをたすけることを大切にしていきます。